

## 21.8.29 KT師重賞本命と見解

### キーンランド C

本命はダイアトニック。

父は今年の芝 1200m でも首位種牡馬。  
すでに当レースでも産駒が勝利しています。

母父はサンデーサイレンス。

当レースはスプリント重賞では珍しいサンデー系に相性の良いレース。

キングマンボ系は適性引き出し型。  
母父がサンデー系の場合、サンデー系に相性の良いレースは走りやすくなります。

昨年は極端な道悪。かつ、内枠壊滅の馬場。

昨年春の 80%ぐらいの状態でもここなら勝ち負け。

エイティーンガールも母父がサンデー系。  
父にストームキャットを持ち、母父サンデーは本命馬と近いパターン。  
昨年よりは軽い馬場でも問題なくスピードを発揮できるでしょう

カツジは当レース、今の馬場も相性の良いディープインパクト産駒。  
母は芝 1200m 重賞勝ち馬。

メイケイエールもディープ系。

## 新潟 2 歳 S

スプリント指向の血を持つ馬に有利なレース。  
近走で速い流れを経験することも重要。

本命はスタニングローズ。

当レースの単勝 20 倍以内の馬は、前走別で新馬戦を使っていた馬よりも未勝利戦を使っていた馬の方が的中率、期待値ともに倍近く優秀。

母父は牝馬の名スプリンターを出すクロフネ。

父は叩いて上昇するキングカメハメハ。  
さらなる上昇を見込める上に、未勝利戦の流れを経験したことも有利。

クレイドルは父クロフネの牝馬。

セリフォスは当レースに相性の良いダイワメジャー産駒。

推定 1 人気のアライバルは中距離指向のスケール認めますが、速い流れになることと、スプリント適性が問われることは不利。